

## ◆ 概要

再起動アダプタは、パソコンがロック/フリーズしたときにWindowsを再起動し、操作可能な状態に戻す装置です。  
USBポートを持つWindowsパソコンで使用できます。

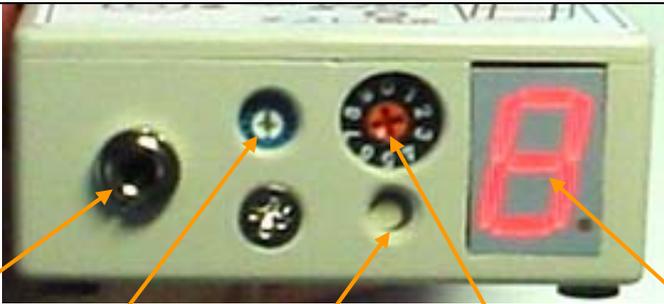


## ◆ はじめに

再起動アダプタは1スイッチで操作できますが、そのぶん操作が複雑です。加えてパソコンのロック/フリーズというめったに起こらない(起こって欲しくない)異常な状態で使用するため、操作方法を忘れたり操作を焦って失敗する可能性があります。正常な状態で何回か操作を練習しておいてください。また、ロック/フリーズ発生時にはこの説明書ファイルも参照できない状態になりますので、操作手順などをメモして貼っておくと良いでしょう。ロック/フリーズ状態が一旦発生してしまえばその後の処置をいくらすばやく行っても状況が改善することはありません。不適切な操作による二次的被害を抑えるよう、ゆっくり、落ち着いて操作することを心がけてください。

## ◆ 各部の名称と機能

## ➤ 前面パネル

				
入力ジャック	スピードつまみ	テスト/設定ボタン	ダイヤル	表示器
操作スイッチを接続します	スキャン速度/スイッチ操作時間を設定します	動作確認 設定変更時に 使用します	動作モード 設定項目を 指定します	状態を表示します

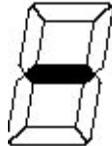
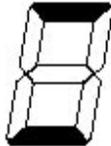
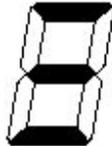
## ➤ 表示器

数字表示 10から15までの数をABCDEFで表します。

BとDは小文字b、dで表します。(6と間違えないよう注意してください)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
										10	11	12	13	14	15

状態表示      スイッチの状態、出力の状態を表します

				
スイッチ オン	予告 (点滅)	実行	N 送信	E 送信

#### ◆ 接続

	操作スイッチをパネルの入力ジャックへ接続してください。 ワンキーマウスと併用する場合は、入力ジャックとワンキーマウスの外部制御ジャック間をミニプラグ付きコードで接続してください。
	パソコンの電源を入れWindowsを起動してください。 パソコンの電源を入れたまま、USBコードをパソコンのUSBポートへ接続してください。 「HIDキーボードデバイス」が認識されドライバがインストールされます。(ディスク等は必要ありません)

#### 動作モード

6つの動作モードがあり、前面パネルのダイヤルで選択できます。

WindowsXPの場合ダイヤル3か5をお勧めします。Windows98ではダイヤル5が適しています。

- ◆ **ダイヤル0** 「スタート」メニューからの再起動自動実行 Windows98用
  - 「スタート」 - 「終了オプション」 - 「再起動」を自動的に実行します。
  - 全ての使用中ソフトを強制的に終了します。作成中の文書は保存されません。
- ◆ **ダイヤル1** 「スタート」メニューからの再起動自動実行 WindowsXP用
  - 「スタート」 - 「終了オプション」 - 「再起動」を自動的に実行します。
  - 全ての使用中ソフトを強制的に終了します。作成中の文書は保存されません。
- ◆ **ダイヤル2** 「プログラムの強制終了」からのシャットダウン自動実行 Windows98用
  - 「Ctrl」+「Alt」+「Del」キーにより「プログラムの強制終了」画面を出し、シャットダウン操作を自動的に実行します。(再起動操作は行えません)
  - 全ての使用中ソフトを強制的に終了します。作成中の文書は保存されません。

- ◆ ダイアル3 「タスクマネージャ」からの再起動自動実行 WindowsXP用
  - 「Ctrl」+「Alt」+「Del」キーにより「タスクマネージャ」を起動し、再起動操作を自動的に実行します。
  - 全ての使用中ソフトを強制的に終了します。作成中の文書は保存されません。
  
- ◆ ダイアル4 「スタート」メニューからの再起動/シャットダウン手動操作 Windows98・XP両用
  - 「スタート」-「終了オプション」まで自動的に実行します。
  - その後の操作を以下から選択して実行できます。
    - 0: 「Esc」キー 「キャンセル」ボタン操作に相当し、操作を中断します。
    - 1: 「Tab」キー 現在選択されている項目やボタンの次の項目やボタンを選択します。
    - 2: 「Enter」キー 現在選択されているボタンを押す操作に相当します。
    - 3: 「Alt」キー メニューを選択します。
    - 4: 「」キー 右または次のボタンやメニュー項目を選択します。
    - 5: 「」キー 下または次のボタンやメニュー項目を選択します。
    - 6: 「」キー 左または前のボタンやメニュー項目を選択します。
    - 7: 「」キー 上または前のボタンやメニュー項目を選択します。
    - 8: 「Alt」+「Tab」キー 起動中のソフトを切り替えます。オペレートナビなどにより自動的に切り替わった場合、戻すのに用います。
    - 9: 「Ctrl」+「Alt」+「Del」キー操作と「スタート」メニュー操作を交互に実行し、他の方法による再起動を試みます。
    - A: ファイル名出力 「rsaveMN」(MNの2文字は毎回変化)の文字列を出力します。ファイルを保存して終了する場合の一時的なファイル名として使用します。
  - ファイルの保存やシャットダウン、スタンバイ、特定のソフトのみの終了操作ができます。
  
- ◆ ダイアル5 「プログラムの強制終了」からのシャットダウン手動操作 (Windows98)
  - 「タスクマネージャ」からのシャットダウン/再起動手動操作 (WindowsXP)
  - 「Ctrl」+「Alt」+「Del」キー操作を自動的に実行し、「プログラムの強制終了」(Windows98)または「タスクマネージャ」(WindowsXP)を起動します。
  - その後に可能な操作はダイアル4の時と同じです。
  - ファイルの保存やシャットダウン、スタンバイ、特定のソフトのみの終了操作ができます。
  
- ◆ 操作方法
  - 基本操作
    1. 操作スイッチを押すとブザーが短く鳴り、表示器に「-」が表示されます。
    2. スイッチを一定時間押したままにすると表示が「二」の点滅に変わりブザーが「ピピピ」と鳴って動作開始を予告します。
    3. ここまでの間にスイッチを離すと、再起動アダプタは動作せず、他の機器の操作を行うことができます。
    4. 上記2の予告からさらにスイッチを押したままにすると、表示が「三」に変わり、ブザーが鳴って、ダイアルで選択した動作が実行されます。

#### ダイヤル0から3の場合の操作 自動実行

5. 操作が自動的に進み、再起動またはシャットダウン(ダイヤル2)が行われます。
6. 保存していない文書や反応しないソフトがある場合、「n」(「保存しない」を実行)と「e」(「終了」を実行)を交互に出力し、文書を保存せず強制終了します。「n」、「e」を出力するときブザーが鳴り、「n」、「E」と表示されます。
7. ブザーと表示の動作はパソコンが再起動/シャットダウンすると停止します。

#### ダイヤル4 Windows98の場合の操作

5. 上記4が実行されると「Windows の終了」画面が現れます。
6. 一定間隔でブザーが鳴り、表示が0, 1, 2... 8, 9, A, 0, 1...と変わります。
7. 表示が希望の操作に対応する文字の時にスイッチを押すと操作が行われます。
8. 表示が0のときにスイッチを押すと「Ecs」キー操作が行われ、画面の「キャンセル」ボタンをクリックした時と同じ動作となります。「Windows の終了」画面が消え直前の状態に戻ると共に再起動アダプタも待機状態に戻ります。
9. 表示が1のときにスイッチを押すと「Tab」キー操作が行われ、選択項目がひとつ進みます。例えば「OK」ボタンが選択(枠取りされて表示)されているときに操作すると隣の「キャンセル」ボタンが選択されます。
10. 表示が2のときにスイッチを押すと「Enter」キー操作が行われ、画面で選択されたボタンが実行されます。例えば「OK」ボタンが選択されているときに操作すると再起動など画面で設定されたことが実行されます。
11. 表示が3のときにスイッチを押すと「Alt」キー操作が行われます。メニューを選択するときに使います。
12. 表示が4, 5, 6, 7の時にスイッチを押すと右、下、左、上の矢印キー操作が行われ、画面で選択された項目がひとつ進みまたは戻ります。ボタンが選択されている時は「Tab」キーと同じ働きをしますが、「再起動する」など「Tab」キーで選択した項目内を移動する場合は矢印キーを用います。
13. 表示が8のときにスイッチを押すと「Alt」+「Tab」キー操作が行われ、起動中のソフトが切り替わります。オペレートナビなど入力補助ソフトを使用している場合、「Windows の終了」画面が現れた後オペレートナビに自動的に切り替わり「Windows の終了」画面がグレーになって操作を受け付けなくなることがあります。その場合「Alt」+「Tab」キー操作により「Windows の終了」画面に戻すことができます。(複数のソフトを起動している場合戻せないことがあります。)
14. 表示が9のときにスイッチを押すと「Ctrl」+「Alt」+「Del」キー操作が行われ、「プログラムの強制終了」画面が現れます。上記5～13で再起動が行えなかった時に別の方法を試すことができます。以降の操作はダイヤル5の場合と同じです。
15. 表示がAのときにスイッチを押すと「save01」などの文字がパソコンに入力されます。保存していない文書を保存して終了する場合のファイル名として使用します。最後の二文字は毎回変化します。

#### ダイヤル4 WindowsXPの場合の操作

5. 上記4が実行されると「コンピュータの電源を切る」画面が現れます。
6. 一定間隔でブザーが鳴り、表示が0, 1, 2... 8, 9, A, 0, 1...と変わります。
7. 表示が希望の操作に対応する文字の時にスイッチを押すと操作が行われます。
8. 表示が0のときにスイッチを押すと「Ecs」キー操作が行われ、画面の「キャンセル」ボタンをクリックした時と同じ動作となります。「コンピュータの電源を切る」画面が消え直前の状態に戻ると共に再起動アダプタも待機状態に戻ります。
9. 表示が1のときにスイッチを押すと「Tab」キー操作が行われ、選択項目がひとつ進みます。例えば「電源を切る」ボタンが選択(明るく表示)されているときに操作すると隣の「再起動」ボタンが選択されます。
10. 表示が2のときにスイッチを押すと「Enter」キー操作が行われ、画面で選択されたボタンが実行されます。例えば「電源を切る」ボタンが選択されているときに操作するとパソコンの電源を切る操作が行われます。
11. 表示が3のときにスイッチを押すと「Alt」キー操作が行われます。メニューを選択するときに使用します。
12. 表示が4, 5, 6, 7の時にスイッチを押すと右、下、左、上の矢印キー操作が行われ、画面で選択されたボタンがひとつ進みまたは戻ります。「Tab」キーと似た働きをします。
13. 表示が8のときにスイッチを押すと「Alt」+「Tab」キー操作が行われ、起動中のソフトが切り替わります。オペレートナビなど入力補助ソフトを使用している場合、「Windowsの終了」画面が現れた後オペレートナビに自動的に切り替わり「コンピュータの電源を切る」画面がグレーになって操作を受け付けなくなることがあります。その場合「Alt」+「Tab」キー操作により「コンピュータの電源を切る」画面に戻すことができます。(複数のソフトを起動している場合戻せないことがあります。)
14. 表示が9のときにスイッチを押すと「Ctrl」+「Alt」+「Del」キー操作が行われ、「タスクマネージャ」画面が現れます。上記5～13で再起動が行えなかった時に別の方法を試すことができます。以降の操作はダイヤル5の場合と同じです。
15. 表示がAのときにスイッチを押すと「save01」などの文字がパソコンに入力されます。保存していない文書を保存して終了する場合のファイル名として使用します。最後の二文字は毎回変化します。



#### ダイヤル5 Windows98の場合の操作

5. 上記4が実行されると「プログラムの強制終了」画面が現れます。
6. 一定間隔でブザーが鳴り、表示が0, 1, 2... 8, 9, A, 0, 1...と変わります。
7. 表示が希望の操作に対応する文字の時にスイッチを押すと操作が行われます。



8. 表示が0のときにスイッチを押すと「Ecs」キー操作が行われ、画面の「キャンセル」ボタンをクリックした時と同じ動作となります。「プログラムの強制終了」画面が消え直前の状態に戻ると共に再起動アダプタも待機状態に戻ります。
9. 表示が1のときにスイッチを押すと「Tab」キー操作が行われ、選択項目がひとつ進みます。例えば「終了」ボタンが選択(枠取りされて表示)されているときに操作すると隣の「シャットダウン」ボタンが選択されます。
10. 表示が2のときにスイッチを押すと「Enter」キー操作が行われ、画面で選択されたボタンが実行されます。例えば「終了」ボタンが選択されているときに操作すると選択したソフトを強制終了します。
11. 表示が3のときにスイッチを押すと「Alt」キー操作が行われます。メニューを選択するときに使用します。
12. 表示が4, 5, 6, 7の時にスイッチを押すと右、下、左、上の矢印キー操作が行われ、画面で選択された項目がひとつ進みまたは戻ります。ボタンが選択されている時は「Tab」キーと同じ働きをしますが、終了ソフト選択など「Tab」キーで選択した項目内を移動する場合は矢印キーを用います。
13. 表示が8のときにスイッチを押すと「Alt」+「Tab」キー操作が行われ、起動中のソフトが切り替わります。オペレートナビなど入力補助ソフトを使用している場合、「プログラムの強制終了」画面が現れた後オペレートナビに自動的に切り替わり「プログラムの強制終了」画面がグレーになって操作を受け付けなくなることがあります。その場合「Alt」+「Tab」キー操作により「プログラムの強制終了」画面に戻すことができます。(複数のソフトを起動している場合戻せないことがあります。)
14. 表示が9のときにスイッチを押すと「Windows」キー操作が行われ、スタートメニューが現れます。上記5～13で再起動が行えなかった時に別の方法を試すことができます。以降の操作はダイアル4の場合と同じです。「プログラムの強制終了」が現れた状態でこの操作を行うと操作不能の状態になることがあります
15. 表示がAのときにスイッチを押すと「save01」などの文字がパソコンに入力されます。保存していない文書を保存して終了する場合のファイル名として使用します。最後の二文字は毎回変化します。

#### ダイアル5 WindowsXPの場合の操作

5. 上記4が実行されると「タスクマネージャ」画面が現れます。
6. 一定間隔でブザーが鳴り、表示が0, 1, 2... 8, 9, A, 0, 1...と変わります。
7. 表示が希望の操作に対応する文字の時にスイッチを押すと操作が行われます。
8. 表示が0のときにスイッチを押すと「Ecs」キー操作が行われ、「タスクマネージャ」画面が消え直前の状態に戻ると共に再起動アダプタも待機状態に戻ります。
9. 表示が1のときにスイッチを押すと「Tab」キー操作が行われ、選択項目がひとつ進みます。



例えば「タスクの終了」ボタンが選択(枠取り表示)されているときに操作すると隣の「切り替え」ボタンが選択されます。

10. 表示が2のときにスイッチを押すと「Enter」キー操作が行われ、画面で選択されたボタンが実行されます。例えば「タスクの終了」ボタンが選択されているときに操作するとパ選択されたソフトを強制終了します。
11. 表示が3のときにスイッチを押すと「Alt」キー操作が行われます。メニューを選択するときに使用します。
12. 表示が4, 5, 6, 7の時にスイッチを押すと右、下、左、上の矢印キー操作が行われ、画面で選択された項目がひとつ進みまたは戻ります。「Tab」キーで選択した大項目中の小項目を選択する場合、メニュー項目を選択する場合に使用します。
13. 表示が8のときにスイッチを押すと「Alt」+「Tab」キー操作が行われ、起動中のソフトが切り替わります。オペレートナビなど入力補助ソフトを使用している場合、「タスクマネージャ」画面が現れた後オペレートナビに自動的に切り替わり「タスクマネージャ」画面がグレーになって操作を受け付けなくなることがあります。その場合「Alt」+「Tab」キー操作により戻すことができます。(複数のソフトを起動している場合戻せないことがあります。)
14. 表示が9のときにスイッチを押すと「Windows」キー操作が行われ、スタートメニュー画面が現れます。上記5～13で再起動が行えなかった時に別の方法を試すことができます。上下矢印キーで「終了オプション」とEnterキー操作で「コンピュータの電源を切る」画面を出すと、以降の操作はダイヤル4の場合と同じです。
15. 表示がAのときにスイッチを押すと「save01」などの文字がパソコンに入力されます。保存していない文書を保存して終了する場合のファイル名として使用します。最後の二文字は毎回変化します。

#### ◆ 操作例

##### ➤ パソコンの電源を切る(シャットダウン)操作

##### ダイヤル4 Windows98の場合

1. スイッチを長く押します。 - 「Windowsの終了」画面が現れます。
2. 表示が5(下矢印キー)のときにスイッチを何回か押して「電源を切れる状態にする」を選択します。
3. 表示が2の(Enterキー)のときにスイッチを押して「OK」を実行します。
4. 保存していない文書がある場合、「保存しますか」という画面で表示が4右矢印キー)のときにスイッチを押して「いいえ」を選択し、表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。
5. 20秒以内に4の操作ができなかった場合、「このプログラムからの応答がありません...」という表示が現れるため、表示が4(右矢印キー)のときにスイッチを押して「終了」を選択し、表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。



#### ダイアル4 WindowsXPの場合

1. スイッチを長く押します。 - 「コンピュータの電源を切る」画面が現れます。
2. 表示が1 (Tabキー)のときにスイッチを何回か押して 「電源を切る」を選択します。
3. 表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して「OK」を実行します。
4. 保存していない文書がある場合、「保存しますか」という画面で表示が4 (右矢印キー)のときにスイッチを押して 「いいえ」を選択し、表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。
5. 5秒以内に4の操作ができなかった場合、「ユーザーからの応答を待つ...」という表示が現れるため、表示が7 (左矢印キー)のときにスイッチを押して 「すぐに終了」を選択し、表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。

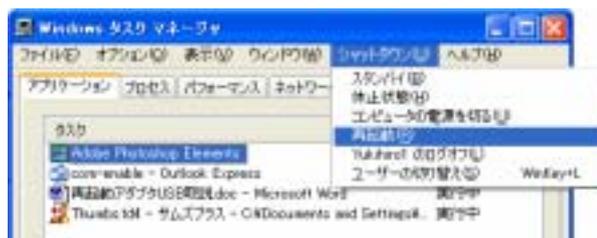


#### ダイアル5 Windows98の場合

1. スイッチを長く押します。 - 「プログラムの強制終了」画面が現れます。
2. 表示が1 (Tabキー)のときにスイッチを何回か押して 「シャットダウン」ボタンを選択します。
3. 表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して「OK」を実行します。
4. 保存していない文書がある場合、「保存しますか」という画面で表示が4 (右矢印キー)のときにスイッチを押して 「いいえ」を選択し、表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。
5. 20秒以内に4の操作ができなかった場合、「このプログラムからの応答がありません...」という表示が現れるため、表示が4 (右矢印キー)のときにスイッチを押して 「終了」を選択し、表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。

#### ダイアル5 WindowsXPの場合

1. スイッチを長く押します。 - 「Windowsタスクマネージャ」画面が現れます。
2. 表示が3 (Altキー)のときにスイッチを押して メニューバーを選択します。
3. 表示が4 (右矢印キー)のときにスイッチを何回かメニューバーの「シャットダウン」を選択します。
4. 表示が5 (下矢印キー)のときにスイッチを何回か押してメニュー項目の「コンピュータの電源を切る」を選択します。
5. 表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。
6. 保存していない文書がある場合、「保存しますか」という画面で表示が4 (右矢印キー)のときにスイッチを押して 「いいえ」を選択し、表示が2 (Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。



7. 5秒以内に4の操作ができなかった場合、「ユーザーからの応答を待って...」という表示が現れるため、表示が7のとき(左矢印キー)にスイッチを押して「すぐに終了」を選択し、表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して実行します。
- 作成中の文書を保存して終了 ダイアル4,ダイアル5
1. 途中までの操作はパソコンの電源を切る時の操作1から5と同じです。
  2. 保存していない文書がある場合、「保存しますか」という画面で表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して「はい」を実行します。
  3. ファイル名を入力する画面で「無題」などのファイル名が表示されている場合は、表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して「保存」を実行します。
  4. ファイル名が空欄または「\*.txt」のような不確定の場合、表示がA(ファイル名)のときにスイッチを押します。 - 「rsave03」などのファイル名が入力されます。次に、表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して「保存」を実行します。
  5. 「このプログラムからの応答がありません...」や「ユーザーからの応答を待って...」という表示が出た場合、表示が4(右矢印キー)のときにスイッチを押して「キャンセル」を選択し、表示が2(Enterキー)のときにスイッチを押して上記2または3の状態に戻ります。
  6. 上記4を実行後再起動/終了が行われなかった場合、表示が0(Escキー)のときにスイッチを押して一旦待機状態に戻り、再びスイッチを長く押して操作を繰り返します。 - すでに保存してあるため2回目は「保存しますか」という画面が現れず、すぐ再起動/終了が行われます。
- パソコンのみキャンセル操作が行われた場合
- 操作中「キャンセル」ボタンをEnterキー操作で実行するなどして、パソコン側が通常状態に戻り、再起動アダプタがスキャン/シフト中のままの場合、表示が0(Escキー)のときにスイッチを押して待機状態に戻します。
- 再起動装置のみキャンセル操作が行われた場合
- 表示が0(Escキー)のときにスイッチを押して再起動装置が待機状態に戻ったときに、パソコン側が操作待ちの状態のままの場合、もう一度スイッチを長く押して再起動動作状態にします。

## ◆ 設定

操作方法、音、スピードなどの設定を変えることができます。

### ➤ スピード調整

1. スイッチを押す長さ、オートスキャン動作のスキャンスピード(間隔)を調整します。
2. 前面パネルの「スピード」つまみを小さいドライバーなどで回して調整します。
3. 右に回すとスピードが速く/時間が短くなります。
4. 電源を入れたまま調整を行ってもさしつかえありません。

### ➤ 動作モード選択

1. 動作モードを選択します。
2. 前面パネルのダイヤルを小さいドライバーなどで回し、0から5に合わせます。
3. 電源を入れたままでも変更できますが、待機状態(表示器が消えた状態)で行ってください。

### ➤ 設定変更

1. 操作方法、音などの設定を変更します。
2. 前面パネルのダイヤルを小さいドライバーなどで回し、6から9に合わせます。
3. パソコンとの間のUSBコードを一旦外し、再び接続してください。(電源入切のため)
4. ダイヤルで選択した6から9の数字が表示器に現れます。
5. 操作スイッチまたは前面パネルの「テスト/設定」ボタンを押すとブザーが鳴り、現在の設定値が0から9の数字とA, B, C, D, E, Fの文字で表示されます。
6. スイッチを短く押すとブザーが鳴り設定値が1だけ増加します。
7. 設定値は順に増加しFに達した後0に戻ります。
8. スイッチを長く押すとブザーが異なった音色で二度鳴り、表示された値が新しい設定値として記憶されます。
9. 設定が終了したらダイヤルを0から5に戻してください。
10. パソコンとの間のUSBコードを一旦外し、再び接続してください。
11. 変更が反映されているか実際に動作させてみてください。
12. 他の項目も設定を変える場合は、上記8の後ダイヤルを6から9に合わせると、新しいダイヤルの設定値が表示されます。

➤ 動作設定                      ダイアル6

1. 表示器の数字が一定間隔で自動的に切り替わるオートスキャン動作と、スイッチをオンする毎に切り替わるシフト動作を選択します。
2. オートスキャン動作はスイッチ操作回数が少ない代わりに機械のタイミングに合わせて操作する必要があります。
3. シフト動作は自分のタイミングで速くも遅くも操作できますがスイッチ操作回数が増えます。
4. オートスキャン動作でスイッチ操作が行われないうちに表示が何周かしたらキャンセル動作を行って待機状態に戻るようになります。表示の周回数を1回から7回の範囲で選択します。0に設定するとスイッチ操作が行われるのを待ち続けます。
5. シフト動作の場合は、周回数ではなく一定時間スイッチ操作が行われなかった場合にキャンセル動作となり、その時間はオートスキャンの場合周回に要する時間と同じです。
6. オートスキャン、シフト動作いずれの場合もスイッチ操作を行うと、周回 / 時間の計数はそこからスタートします。
7. 設定値と設定内容は以下の通りです。 出荷時の設定は5

表示	動作	周回数
0	オートスキャン	
1		1
2		2
3		3
4		4
5		5
6		6
7		7
8	シフト	
9		1
A		2
B		3
C		4
D		5
E		6
F	7	

➤ 反応遅れ時間                      ダイアル7

1. スイッチオンから再起動動作が始まるまでの時間を設定します。
2. この時間内にスイッチをオフにすれば再起動動作は行われず、スイッチの信号を他の機器の操作に使用できます。
3. 再起動装置を単体で使用する場合でも、反応遅れ時間を設けると操作ミスなどで不用意に再起動動作を行うことを防ぐことができます。
4. 環境制御装置、1入力2出力アダプタなどから再起動装置の操作を行う場合は反応遅れ時間は0または短く設定してください。
5. 設定値が0からBでは設定時間はスピードつまみの設定時間と独立しています。反応遅れ時間を長くし、スキャンスピードは速くしたいとき、あるいはその逆の場合に使用します。

6. 設定値がCからFでは設定時間はスピードつまみの設定時間と連動します。スピードつまみを回すことで電源を入れたまま時間を変えることができます。
7. 予告は反応遅れ時間が3 / 4経過した時点で行われます。
8. 設定値と設定内容は以下の通りです。出荷時の設定はE

表示	反応遅れ[秒]	スピード設定
0	0	独立
1	0.2	
2	0.3	
3	0.4	
4	0.6	
5	0.8	
6	1.2	
7	1.7	
8	2.5	
9	3.5	
A	5.0	
B	6.6	
C	スピード設定の1 / 4	連動
D	スピード設定の1 / 2	
E	スピード設定の3 / 4	
F	スピード設定と同	

➤ **ブザー音**                      **ダイヤル8**

1. 操作中のブザー音を選択します。
2. スイッチ操作音 スイッチを押したときにブザー音を鳴らすかどうか設定します。
3. 予告音 スイッチを長く押して予告時間(反応遅れ時間の3 / 4)に達したときブザー音を鳴らすかどうか設定します。表示は設定にかかわらず行われます。
4. 実行音 操作によって、または自動的にパソコンへキー信号が送られたときにブザー音を鳴らすかどうか設定します。
5. ホームポジション音 オートスキャン/シフトが0に戻ったときにブザー音を鳴らすかどうか設定します。
6. シフト音 オートスキャン/シフトで1数字が切り替わる毎にブザー音を出すかどうか設定します。

7. 設定値と設定内容は以下の通りです。出荷時の設定はF

表示	スイッチ	予告	実行	ホーム	シフト		
0	なし	なし	なし	なし	なし		
1	あり						
2	なし	あり					
3	あり		あり			あり	あり
4	なし	なし					
5	あり						
6	なし	あり					
7	あり						
8	なし	なし					
9	あり						
A	なし	あり					
B	あり						
C	なし	なし					
D	あり						
E	なし	あり					
F	あり						

➤ 文字出力                   ダイヤル9

1. スイッチをオンにしたときにパソコンへ1文字入力するよう設定できます。
2. WindowsXP付属のスクリーンキーボードをスキャン動作で使用する場合など入力補助ソフトの操作に使用します。
3. 設定値と入力文字は以下の通りです。出荷時の設定は0

表示	入力文字・キー
0	なし
1	スペース
2	F11
3	F12
4	Shift(左)
5	Shift(右)
6	Ctrl(左)
7	Ctrl(右)
8	Alt(左)
9	Alt(右)
A	なし
B	
C	
D	
E	
F	

◆ 一覧

➤ 動作モード

ダイヤル	対応OS	起動方法	動作内容	動作方法
0	Windows98	スタートメニュー	再起動	自動
1	WindowsXP			
2	Windows98	[Ctrl] + [Alt] + [Del]	シャットダウン	手動
3	WindowsXP			
4	Windows98・XP	スタートメニュー	再起動	手動
5	Windows98・XP	[Ctrl] + [Alt] + [Del]		

➤ 操作

表示	入力キー	用途
0	Esc	キャンセルボタン、操作中断
1	Tab	項目移動
2	Enter	実行、OKボタン
3	Alt	メニューバー選択
4		項目移動
5		項目移動
6		項目移動
7		項目移動
8	Alt+Tab	ソフト切り替え
9	Ctrl+Alt+Del	プログラムの強制終了起動 タスクマネージャ起動
	Windows	スタートメニュー
A	rsaveNM	ファイル名入力